現在計画　C		—	—	—	—	—	565,742	373,920
B－A又はC－A		25,132	38,638	206,388	137,742	△ 243,903	△ 55,586	0
資金不足額	1,492,513	1,454,612	1,503,134	1,242,308	958,650	766,667	256,511	—

備考　「現在計画　C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3　資金不足比率の状況

（単位：％）

年度／資金不足比率	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）		平成22年度（第２年度）		平成23年度（第３年度）		平成24年度（第４年度）		平成25年度（第５年度）		平成26年度（第６年度）		平成27年度（第７年度）
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	134.0	115.8	113.6	120.1	126.9	115.6	100.8	104.6	79.1	71.2	63.1	27.9	20.2	—

4　その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

・市民に信頼される病院づくりについては、計画どおり実施。

・経営形態の見直しについては、計画どおり実施。

大阪府大阪市　中央卸売市場事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1　計画と具体的な措置の状況

・収入における方策について

⑴　入居促進を実施

（収入額）計画額　131百万円→実績額　206百万円（75百万円増）

※平成25年度新規入居者の使用料収入が通年になったことによる増

・支出における方策について

⑴　人員削減

（人件費）計画額　921百万円→実績額　744百万円（177百万円減）

※計画期間の人員削減累積数による減

⑵　業務委託化の推進と物件費の増加抑制

（物件費）計画額　2,377百万円→実績額　2,678百万円（301百万円増）

⑶　投資的経費の見直し

（建設改良費）計画額　951百万円→実績額　127百万円

・その他の資金収支を改善する方策について

資本費平準化債の発行

計画額　2,684百万円→実績額　2,346百万円

2　資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分／年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）	平成22年度（第２年度）	平成23年度（第３年度）	平成24年度（第４年度）	平成25年度（第５年度）	平成26年度（第６年度）	平成27年度（第７年度）	平成28年度（第８年度）
当初計画　A		936,864	1,723,266	1,651,809	1,235,306	1,526,461	1,511,696	2,202,966	1,939,099
解消実績額　B		1,349,452	2,091,196	2,611,340	1,667,456	1,984,192	1,548,126	—	—
現在計画　C		—	—	—	—	—	1,511,696	2,202,966	1,939,099